

カトリック河原町教会だより

2019年11・12月

貧しい人々と地球とが叫んでいます。

おお、主よ、

すべてのいのちを守るため、

よりよい未来をひらくため、

あなたの力と光でわたしたちをとらえてください。

正義と平和と愛と美が支配する、あなたのみ国の到来のために。

あなたはたたえられますように。

教皇フランシスコ回勅『ラウダート・シ』から



フランシスコ教皇さま ようこそ日本へ

教皇フランシスコは、教皇ヨハネ・パウロ二世以来、38年ぶりのローマ教皇来日となります。教皇ヨハネ・パウロ二世は、広島平和アピールの中で、「戦争は人間の仕業です。戦争は人間の生命の破壊です。」と、平和の大切さを主張されました。

現代の世界は、各地で絶え間ない紛争が起こり、自然は搾取され環境破壊が進んでいます。貧富の格差が広がり、多くの社会不正義と矛盾に満ちています。特に貧しく小さい者のいのちが忘れられています。

その中で、教皇フランシスコはあらゆる手段で弱く貧しいものへの配慮を訴えておられます。教皇フランシスコとともに、神のたまものである「すべてのいのち」を守るため、祈りまた行動していかなくてはなりません。貧しいものと環境の守護聖人のお名前を持つ教皇フランシスコを、大きな喜びをもってお迎えしたいと思えます。

京都元和の大殉教^{げん}400年記念

福者ペトロ岐部と187殉教者 列聖祈願ミサ

～ 一粒の麦が、地に落ちて死ねば、多くの実を結ぶ ～

10月5日(土)11時より、カトリック河原町教会聖堂において「福者ペトロ岐部と187殉教者列聖祈願ミサ」大塚司教主司式、約20名の司祭の共同司式で開催されました。



江戸時代初期、大殉教と呼ばれるものが京都・長崎・江戸の三か所で起こりました。京都元和の大殉教は1619年10月6日、今から400年前のことです。幼児を含む52名が鴨川のほとりで十字架につけられ火刑により殉教しました。ヨハネ橋本太兵衛、妻テクラと5人の子供たちのお話が有名です。1994年 刑場に顕彰碑が建てられましたが、その時尽力された一人が河原町教会信徒の嶋崎賢児氏です。

京都元和の大殉教者52名は、2008年 教皇ベネディクト16世により列福された「福者ペトロ岐部と187殉教者」のなかに含まれています。殉教によって信仰をあかした聖なる188名の一日も早い列聖を願って、ミサの中でお祈りをおさげしました。

第40回 京都南部ウォーカソン

11月4日(土)晴天に恵まれ、第40回京都南部ウォーカソンが開催されました。大塚司教は開会式に参加され、京都南部ウォーカソン実行委員に対して40年間の労をねぎらい、感謝を述べられました。スポンサーと心をつなげて世界中の困っている人々に支援の心を届けられるように、ウォーカソンを通して出会う人と友人になるよう、楽しい意味のある一日にしてくださいと、参加者全員にエールを送られました。

今年の支援金は東日本大震災被災者支援およびブルキナファソでの教育活動支援とネパールでの教育活動支援に贈られます。神父、信徒や教会学校の子どもたちをはじめ、幼稚園、小学校、中学校、高等学校から、またその家族、スタッフも合わせて、総勢約600名が参加しました。



聖堂前庭にて



司教より激励を受ける

キリストが共に歩いてくださる

「京都南部ウォーカソン」40周年に感謝!

多くの皆様方のお祈りとご協力のお陰で、11月4日(月)木枯らし1号が吹く中、今年も無事に「京都南部ウォーカソン」を終了することが出来ました。



御池橋付近にて

40周年記念を祝し大塚司教様をご多忙の中、出発式にご出席下さり、温かい開会のお言葉と祝福を頂きました。司教様に心からの御礼を申し上げます。なお参加・協力者は併せて約600名でした。

さて、この京都南部ウォーカソンが始まったのは1979年(昭和54年)のことです。今年で丁度40回目となりました。現在は河原町教会聖堂を出発・ゴール地点としていますが、初回は市内を廻るコース<河原町教会→二条城→衣笠教会→北山→高野教会→河原町教会>でした。

「ウォーカソン」とは、歩く(WALK)とマラソン(MARATHON)の合成語で、マリスタ会カーティ師の紹介で、奈良で行われた報告が教区時報に送られ、時報編集部で「これは面白いね!やってみよう!」と始められたものです。

すなわち歩いて募金をすること。

1. 歩く人
2. スポンサー(歩く人の努力に対する)
3. 助けを必要としている人々(団体)と

三者が心をつなげて共に歩く、三人が一緒に歩いている。敢えて言えば、キリストと共に四人が歩く愛の事業<<同行四人>>。奉仕する人を加えて<<同行五人>>。

すなわち「歩く愛の募金活動」なのです。(村上透磨師談)

主催者も発足当時は教区時報編集部でしたが、その後南部連(南信協)から、教区内の各ブロック持ち回りで担当し、現在は京都南部各教会のボランティアが実行委員会を形成しています。

当実行委員会も他のグループ同様、高齢化、少数化となってきております。この愛の事業を更に継続・発展するために、今後とも皆様方のお祈りとご支援・ご協力をお願い致します。

最後にこのウォーカソンに当初から関わり、40年に亘り変わらぬ温かいご支援・ご協力とお祈りを頂戴している村上透磨師にも心からの感謝を申し上げます。

宮川 徳三



教育部の皆さん

京都南部地区「国際ファミリーデー」

◇ 出会うすべての人の善き隣人となりましょう ◇

10月14日(月・祝)聖母女学院ホールにて、京都南部ブロック主催の「国際ファミリーデー」が開催されました。10:00～11:30大塚司教と司祭団共同司式によるミサと、その後交流イベントが行われました。様々な理由で日本を訪れる外国の方や、身近な人たちに対するキリスト者のあり方を考える良い機会となりました。洛北・洛東・山城・京丹の4つのブロックから国籍も様々な多くの信者が集い、共に祈りをささげました。ミサは主に英語と日本語で行われ、頂いたプリントを見ながらベトナム語や、フィリピン語の聖歌も共に歌いました。共同祈願は、日本語・韓国語・タミル語・フィリピン語・ベトナム語で行われました。



ミサ後の交流イベントでは、各ブロックから舞台での出し物が披露され、また手作りの美味しい料理が提供されました。中には、珍しい外国の料理もありました。外国からの若者が多く参加し、会場は活気にあふれていました。共に手を取り合って天国へ向う旅を続ける、私たち共同体の豊かさと喜びを再認識する一日でした。



敬老感謝ミサと懇親会



9月15日(日)10時半から、今年も75歳以上の方々をお招きし、ユン・サンホ神父司式にて「敬老感謝ミサ」が行われました。ミサ後には、美しくリニューアルされたヴィリオンホールにて懇親会が行われました。お祈りのあと楽しい会食と歓談が始まりました。途中、辻井様・斉木様と御二人の方による河原町教会の懐かしいお話をお聞きすることができました。

会食が一段落したところで、落語家 笑福亭仁昇氏の公演があり、プロの噺家の巧みな話芸を堪能しました。参加者は今年もここに集える喜びのなかで、和やかなひと時を過ごしました。

アジア体験学習 タイにて 京都教区青少年委員会 主催

《お断り》この記事は情報の入手元が同一のため教区時報504号と一部重複しています。

8月19日から25日までアジア体験学習が実施されました。この体験学習はこれまで、フィリピンに行っていました。今回は初めてタイに行き、高校生と青年との合同で実施し、高校生12名、青年（大学生以上）8名が参加し、担当司祭4名（キム、ランディ、ホセ、菅原）とリーダー1名が同行しました。河原町教会からは高校生3名が参加しました。各参加者は、タイの青年とペアを組んで、期間を通して共に過ごし、交流を深めることができました。ナコンラチャシマ教区の司祭、修道者、信徒の皆さん、そして現地のフィリピン宣教会の方々の全面的な温かいご協力とご奉仕により、恵みの多い体験学習となりましたこと感謝しています。

今 回のアジア体験学習で初めてタイに行きました。日本人仲間のサポートや、話す言葉が違っても互いに歩み寄ったことで有意義な七日間を過ごすことができました。特に印象に残ったことを紹介します。

一つ目はタイの高校生や小学生、その他の方々との異文化交流です。私たちはタイの高校生と二人一組のバディを組み、体験学習中の行動を共にしました。また、ホームステイ先の近くにある小学校に通う子供たちと鬼ごっこや折り紙をして遊びました。一番心に残ったことはカルチャーナイトです。互いの国の歌と踊りを披露したり、演奏に合わせてみんなで思い思いに身体を動かし「自由」を体感できました。誰一人として否定される人がいないその空間はとても心地良かったです。

二つ目に普段の「生活」に関連した事で印象に残ったことがあります。それは水に関わるものです。水は風呂やトイレ、飲料として毎日の生活に必要不可欠です。タイと日本の違いが少し大変に感じました。水道水は飲むことができず、うがいや歯磨きは全て飲料用の水を使いました。ペットボトルの水はとても貴重でした。トイレも日本と違い戸感しました。特に公衆トイレでは便座が座れないものがありました。私は日本の生活が、とても豊かなものだと思われました。楽な生活をしてきたからタイでの生活が不便に感じてしまったのです。このような海外での経験で、恵まれたいつもの環境を再確認できました。

最後に、今回このような貴重な体験ができたのはたくさんの方のお祈りや支援のおかげです。本当にありがとうございました。

平野 有理（高3）



ノンヤーブラン村のメイン会場にて



ホームステイをした村にて

私 はこの夏、アジア体験学習でタイに行きました。母から行き先はタイだと言われ英語が苦手な私は躊躇しました。後悔したくないので、申し込みをして行けるなら、それは運命だと思い決心しました。期待感からドキドキしましたが、同じくらい不安もありました。

タイに行って一番心に残ったことは、バディが優しくしたことです。バディは、タイに着いた次の日に組み合わせを知りました。最初何を話していいかわからずにはいましたが、名前と次にカモン！と呼ばれ、緊張が解けて笑えるようになりました。英語の表記が少なく、ほぼタイ語でした。私はタイ語を知らないのですが、バディが英語で通訳してくれました。私は英語が理解できないときもありました。しかし、バディが根気強く説明してくれて内容を理解することができました。ドラエモンの歌を教えてあげたり、タイで流行っているものを教えてもらいました。

私は、この合宿に来て良かったと思っています。たとえ言葉の壁があったとしてもお互い話してみたいという意志があれば通じることを知りました。外国だからという理由で、ちょっと億劫だなあという価値観を完全には払拭できていませんが、今回の経験を通して苦手意識が薄れた気がします。

植月 もも（高3）

初 めて高校生会の海外体験学習プログラムに参加しました。神父様方もタイに行くのは初めてという事が不安でした。関西国際空港に着いて、知っている人がいないので不安が増しました。空港のチケットカウンターでキム神父様に見つかり、他の人と喋るように言われました。他の男子（全員で6人）と会話しているうちに大丈夫だと感じ安心しました。ところが飛行機の出発が遅れ、不安になりました。2日目バディと対面しました。その後プログラムの本拠地となるノンヤーブラン村にバスで移動。そこでホストファミリー宅へと向かい、この日はすぐに寝ました。同じホストファミリー宅に泊まったもう一人の日本人に、スマホが使えるようにしてもらいました。3日間その村に滞在し、色々なアクティビティを楽しみました。



タイ料理を囲んで

出発前にしおりを見た時、内気な自分には辛いかなと思いましたが、実際は楽しく会話できました。安心した時は神様が助けてくださったと感じました。期間中見守ってくださった神様に感謝します。関わった全ての方、ありがとうございました。

古川 智也（高2）

「ぶどうの会」と手作り活動

「ぶどうの会」は誰が会員であるというのではなく信者の誰方でもいつでも会員になれる「縛り」のない会ではありますが、継続して活動して行く努力には、皆様の力の凄さに頭が下がる思いであります。



縛りのない処では「心の繋がり」が一つに成っていないと前に進まないものです。大きな教会行事では「お手伝い」と言う形で、クリスマスや市民の集い、ご復活祭、敬老感謝の日、ウオーカソン等如何なる時も小さなお手伝いではありますが、頑張っております。

「新年会」も教会役員の皆さま共々大勢の方々と楽しむ会として大きな「分かち合い」となっております。年に一度は他教会への巡礼としてバス旅行も企画しております。中でもバザーの「手作り会」は2011年の東日本大震災の折には、数年間に渡りカリタス会を通じて、バザーの収益金を大船渡の教会に送らせて頂きました。

また此処数年は看護施設「聖嬰会」にご寄付させて頂いております。家庭にいる事が出来ず聖嬰会に身を寄せている子供達の為にです。希望の家やのぞみの園でのボランティア講座の中で施設長の杉野義人氏のお

話を聞き、寄付金をお持ちした時にも、聞きましたがひと昔前の様に貧困だけの問題ではなくDVに悩まされ、それでも直、親が大好きで苦しんでいる子供達、さらに18才になれば施設からは独立して出て行かなければならない。その時、働く為に部屋を借りる資金がない、多少でもそんな時の為にお役に立てればと私達は手作り頑張りに応援して行きます。

初金、そして後の金曜日は「手作りの会」として毎年の12月のバザーの為に心を込めて日常用品を制作しております。第4日曜日は「ぶどうの会」の例会を開き司祭のお話を聴き、評議会の報告を聞き教会活動の一環として、分ち合って日々の信仰を深める事に励んでおります。

今後ともご理解とご支援よろしくお願いたします。

早弓 恵美子

ぶどうの会

手作りミニバザー開催のお知らせ

日 時：2019年12月8日 10:30 ミサ後

場 所：教会聖堂前庭

支援先：社会福祉法人 京都聖嬰会

皆さん どうぞお立ち寄りください。

鍊成会リーダーの感想文 (先月号からのつづき)

■ 鍊成会の参加が初めてで、何をしてもよくわからず、緊張していましたが、女子サブリーダーをはじめ、リーダー、サブリーダー、小学生のみんなに助けられながら楽しい三日間をすごせました。みなさん、ありがとうございます。一日目の資料館見学、二日目の飯盒炊爨や遊びなど、思いのほか子どもたちが自由に過ごせる時間が多く、初日はあまり子どもたちと打ち解けられなかったのに、二日三日と日がたつうちに小学生のほうから声をかけてくれて、コミュニケーションがとれていけました。キャンプファイヤーの出し物では、班のそれぞれが率先して企画していて、その行動力に驚きました。人と仲良くなる力は、私の数十倍もあって、とてもほがらかで、元気ももらいました。新鮮な体験でした。カテケージスでは、サマリアとユダヤが何故仲が悪いのか、歴史からたどった神父様のお話がとても興味深く、たとえ話を歴史的観点からなぞるとまた違った見方ができました。歴代の教皇さまはイタリア人が多く、お話を聞いていると、ヨーロッパ系の人が多い印象を受けました。今の教皇さまは、アルゼンチンの方なので、これからはヨーロッパ系以外の方が教皇さまになるかもしれないと思いました。大きな組織が続くには、トップの人の計り知れない責任と行動が必要で、かなりの覚悟が大きい組織ほど求められるのだと思いました。

酒井 あす香(高2)

■ 今回リーダーとして参加して心に残ったことが二つあります。一つ目は子どもたちと川遊びをしたことです。前日に海パンとぬれていい服を準備して、ずっと楽しみにしていました。日差しがきつくて、暑かったけど川の水が冷たくて気持ちよかったです。小学生が水をかけてくれて、楽しかったです。大学の試験のストレスを発散することができました。サブリーダーや小学生と水を掛け合って、青春していると感じました。二つ目はリーダーとして意識を持つことができました。今年から土曜学校のリーダーをしているので、「リーダーがどんなことをするのか」ということを学びました。来年はリーダーをやりにきって、夜もリーダーやサブリーダーと楽しく過ごしたいです。来年も参加します。

小林 千浩(大1)

◇ 2019年11月～2020年1月の行事予定 ◇
(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
11	1	金	【諸聖人】
	2	土	【死者の日】 諸死者追悼ミサ 18:30
	3	日	【年間第31主日】 評議会 11月例会 10:30 ミサ後 物故者追悼ミサ(衣笠教会) 14:00
	4	月	第40回京都南部ウォーカーソン
	10	日	【年間第32主日】 七五三お祝い 10:30 ミサ
	17	日	【年間第33主日】 貧しい人のための世界祈願日
	23	土	教皇来日(～26日)
	24	日	【王であるキリスト】 【年間第34主日】 教皇ミサ(長崎)
	25	月	教皇ミサ(東京)
	30	土	待降節黙想会 2020年度 教会役員選挙投票日 18:30 ミサ後
12	1	日	【待降節第1主日】(A年) 評議会 12月例会 10:30 ミサ後 2020年度 教会役員選挙投票日 7:00～10:30 ミサ後 菅原神父霊名<アンノ12/5記念日>のお祝い 7:00 ミサ
	3	火	【聖フランシスコ・ザビエル司祭】 司教座聖堂献堂記念ミサ 10:30 京都教区司教座教会献堂記念日
	8	日	【待降節第2主日】
	9	月	【無原罪の聖マリア】
	15	日	【待降節第3主日】 クリスマスチャリティーコンサート 14:30
	22	日	【待降節第4主日】 教会美化デー
	24	火	クリスマス市民のつどい 18:30 主の降誕夜半のミサ 21:00
	25	水	【主の降誕】 ミサ 7:00・10:30・13:00 (英語)
29	日	【聖家族】 ユン神父霊名<聖ヨハネ使徒福音記者 12/27 記念日> のお祝い	
1	1	水	【神の母聖マリア】 元旦ミサ 7:00・10:30 世界平和の日
	5	日	【主の公現】 評議会 1月例会 10:30 ミサ後
	12	日	【主の洗礼】
	19	日	【年間第2主日】 河原町総会教会 10:30 ミサ後(ヴィリオンホール)
	26	日	【年間第3主日】 キリスト教一致祈禱週間 超教派合同礼拝 (河原町教会) 16:00

お知らせ (敬称略)

《洗 礼》おめでとうございます。

2019年 9月29日 マリア・ミカエラ 永井 茜

《転 入》ようこそ河原町教会へ

2019年 10月12日 ヨゼフィーナ・マリア 横倉 道子

《転 出》どうぞお元気で

2019年 9月15日 マリア・テレジア 米澤 飛鳥

《帰 天》主よ、永遠の安息をお与えください。

2019年 9月15日 ローザ 小林 裕子

2019年 9月30日 パルバーラ 佐藤 富美子

2019年 9月30日 マルチヌス 川崎 桃太

2019年 河原町教会 クリスマス

- ◆ クリスマス チャリティー コンサート 12月15日(日) 14:30
- ◆ クリスマス 市民の集い 12月24日(火) 18:30
- ◆ 主の降誕 夜半ミサ 12月24日(火) 21:00
- ◆ 主の降誕 ミサ 12月25日(水) 7:00・10:30
13:00 (英語)

河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00 10:30

* 英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30

水曜日 6:30

金曜日 18:30

土曜日 6:30 18:30
(主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇ 信仰入門講座 ◇

月曜日 19:00 一場 修 神父

火曜日 15:30 一場 修 神父

水曜日 15:30 Sr. ローザ

金曜日 11:00 Sr. ローザ

水曜日 10:30 (洗礼準備講座) ユン・サンホ 神父

金曜日 17:30 // 菅原 友明 神父

土曜日 11:00 // 菅原 友明 神父

土曜日 17:00 // 菅原 友明 神父

* 信仰入門講座のお問合せ

rakuto.nyumon.class@gmail.com か事務室まで

◇ 信徒養成講座 ◇

(ヴィリオンホール)

木曜日 15:45～16:45

信徒養成講座 一場 修 神父

第1土曜日 19:30～20:20

信徒養成講座 菅原 友明 神父

◇ 信徒の再教育・カテキズム講座 ◇

(ヴィリオンホール)

第3土曜日 19:30～20:20

カテキズム講座 ユン・サンホ 神父

◇ 英文で学ぶ『ラウダート・シ』読書会 ◇

(ヴィリオンホール)

毎月第2・4木曜日 14:00～15:30

指導: Sr. メリー・レベッカ・我部

◇ 主日の福音を読む集い ◇

(ヴィリオンホール)

毎週 日曜日 9:30～10:20